

重点的に取り組む施策の概要 - 地域創生進化予算 -

● 攻めの農林水産業の推進



- 新たなターゲットによる多様な担い手の育成・確保
- 醸造用ぶどうの生産拡大や栽培技術の向上による質の高いワインづくりの推進
- 直播に適した水稲品種の開発加速化による北海道米の生産性向上
- 農業と福祉が連携した障がい者の力を農業経営に活かす取組の推進
- 秋サケ等の生産回復やナマコの資源増大を図る技術開発等の推進
- スマート農業や日本海地域の養殖漁業の生産拡大など新たなイノベーションの推進
- 薬用作物生産の地域モデル構築や道産CLTの生産体制整備など新たなブランドの創出
- 生産基盤の充実、6次産業化や付加価値の向上 など



- 新たな取組**
- 普通科の生徒など新たな担い手の掘り起こし
 - 「北海道産ワイン」づくりを質・量で支えるぶどう確保対策の強化

● 価値を産み出す企業や人の呼び込み



- 食関連・健康・医療などの高い付加価値を産む成長企業の誘致
- 本道の冷涼な気候を活かしたデータセンター誘致の展開
- 戦略的なセールスや企業誘致サポーターの活用
- 食やものづくり産業企業への若者の就職支援
- 合同企業説明会などを通じた情報発信による若者や専門人材などのUIターン就職の促進
- 企業経営の改善に向けた道外からのプロフェッショナル人材の活用 など

- 新たな取組**
- 食関連やデータセンターなど優位性を活かした企業誘致活動の強化
 - UIターンサポートデスクの若者への情報発信力の強化
 - 外国人留学生の道内就職促進

● 地域（ふるさと）産業の「地力」アップ



- 地域の支援体制の整備や官民連携による小規模企業支援ファンドの創設などによる円滑な事業承継の促進
- 自動走行の実証試験誘致や次世代自動車産業への理解促進による人材育成を推進
- 自動車・食関連機械など地域を支える製造業等の振興
- 地域に密着したきめ細やかな相談対応などによる小規模企業の経営体質強化 など



- 新たな取組**
- 事業承継を支援するファンドを通じた小規模企業へのサポート
 - 自動走行実証試験の誘致活動の強化

● 次世代を担う成長産業の創造



- 「新エネルギー導入加速化基金」を創設し、エネルギーの地産地消や地域主体の新エネ導入の取組を支援
- 燃料電池車の普及や水素サプライチェーンの展開など水素エネルギー利活用の取組の推進
- ヘルスケアサービス事業へのビジネス参入の促進など健康長寿関連産業の振興
- 航空宇宙分野への参入促進に向けた情報発信や技術力向上の取組を支援
- AI/IoTを活用した地域課題の解決を目指す実証モデルづくり など

- 新たな取組**
- エネルギーの自給と循環など地域の取組を支援する基金の創設
 - FCV(燃料電池車)の公用車への導入と水素ステーション整備の支援
 - ロケット・人工衛星の開発・利活用の促進や航空機産業への参入支援

● 女性・若者の力が発揮できる環境づくり



- 子育て中の女性など多様な働き手の就業促進
- 農業活性化の起爆剤となる女性の就農支援の基盤強化
- 商工団体や金融機関、先輩起業家、大学など地域全体で支える起業の促進等
- 女性の活躍を促進するため男女が共にその個性と能力を十分に発揮することができる環境づくりの推進 など



- 新たな取組**
- 子育て中の女性の就業体験サポートなど就職活動支援を強化
 - 若い世代の女性農業者への支援を強化

● 働き方改革によるワークライフバランスの実現



- 「ほっかいどう働き方改革支援センター」による企業の就業環境整備や働き方改革プランの作成支援
- 若手社員のキャリアデザイン形成支援や企業の意識啓発などを通じた職場定着支援
- 子育て応援企業の表彰や子どもを生ま育てる環境づくりと連携した企業の取組のサポート など



- 新たな取組**
- 人手不足が著しいITや宿泊事業者へ働き方改革プランナーを派遣
 - 多様な働き方を支えるモデルプランの作成・普及

●「北海道暮らし」の魅力創造と発信



- 東京・札幌の「ふるさと移住定住推進センター」における「しごと・住まい・暮らし」のワンストップ相談体制の推進、観光窓口と連携した情報発信
- 北海道らしい「生涯活躍のまち」の推進を図るため市町村の取組の具体化を支援
- 高齢者、障がい者、子ども等が地域住民と共に集い交流し、支え合いの取組を促進する「共生型地域福祉拠点」の形成支援
- 空き店舗を活用したコミュニティビジネス創出の取組を支援 など



- 首都圏における「食」、「観光」、「暮らし」が連携した情報発信の強化

●世界に誇る「ふるさとの歴史文化」の浸透・発信



- アイヌ文化の世界への発信強化、オール北海道で連携して取り組む「民族共生象徴空間」の2020年公開に向けた機運醸成
- 北海道みんなの日(愛称:道みんなの日)にあわせた歴史文化への道民理解を深める取組の推進

- 歴史文化・芸術施設のバージョンアップ
- 世界に誇る自然環境と多様な生物との共生 など



- 先住民族文化を有するハワイや台湾等海外へアイヌ文化の本格的なPRの実施
- 道みんなの日制定イベントの開催

●獲る活かす・道産ジビエのブランド展開



- 鳥獣保護区などのエゾシカ逃避地において新たに道が市町村などと連携して行う目標達成に向けた効果的な捕獲の実施
- エゾシカの捕獲、回収、食肉などへの有効活用までを一貫して行う地域モデルの創出と更なる利活用の促進
- 農業や森林への被害を最小限に食い止める市町村等の着実な取組への支援 など



- 鳥獣保護区等での捕獲事業の実施
- 利活用地域モデルの確立とエゾシカ肉処理施設認証などブランディングの本格展開

●暮らし・交流を支える交通ネットワークの形成



- 女性や若者を対象とした雇用モデル事業の実施などバス路線の維持確保に向けた運転手の確保、利用促進対策の推進
- 北海道新幹線を活用した北東北との交流拡大や開業効果の全道波及に向けた二次交通の充実強化
- 離島の空路、航路の維持確保 など



- 女性や若者を対象としたバス運転手確保、地域の実情に応じたバスの利用促進
- 新幹線開業効果の波及拡大に向けた北東北との連携の強化

●活力ある地域を支える健康づくり・地域医療の推進



- 「メディカルウイング」実用化による医療提供体制の充実
- がん患者が治療と就労を両立できる職場環境づくりに向けた支援
- 道外医師の移住促進や若手医師の指導体制強化
- 健康寿命10ランクアップを目指した北海道健康マイレージ事業の推進
- 医師不足地域に医師を派遣する「地域医療支援センター」の運営や女性医師の就労サポートなどの推進 など



- 全国初のメディカルウイングの実用化
- がん患者の就労支援に向けた企業研修の実施

●安心のユニバーサル北海道づくり



- 介護従事者の職場環境改善等に向けた事業者の協同化の促進・支援
- 介護従事者の負担軽減のための介護ロボットの普及
- 要介護者の在宅生活を柔軟に支える介護サービスの普及促進
- 道内の特別支援学校などを活用し、障がいのある方がスポーツに親しめる機会などの提供
- 地域産業と連携した障がいのある方の職域開拓の強化
- 医療と介護が連携した地域包括ケアシステムの構築
- アクティブシニアの活躍を生かす共助・互助の地域づくりの推進 など



- 介護ロボットの導入促進による介護従事者の労働環境改善と人材確保の推進
- 障がいのある方が地域でスポーツに親しめる環境づくり



重点的に取り組む施策の概要 - 地域創生進化予算 -

● 北の住まいるタウンの推進

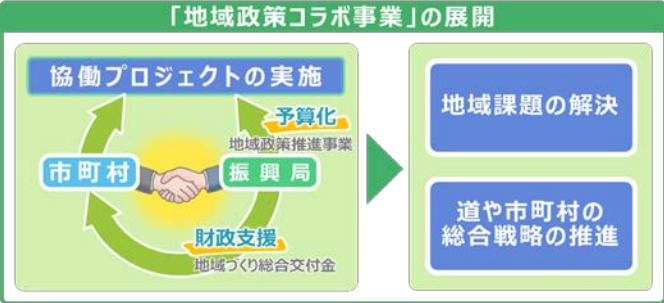


- コンパクトなまちづくり、低炭素化・資源循環、生活を支える取組の一体的な推進に向けた地域モデルの展開促進
- 「空き家情報バンク」の運営による空き家及び空き地の有効活用の促進
- 中心市街地の公営住宅整備などによるまちなか居住の推進
- 地域の実情に応じたエネルギーの地産地消や木質バイオマスなど地域資源の循環利用の推進 など



● 「北の住まいるタウン」モデルの全道展開

● 現場力を活かした地域政策の推進



- 振興局と市町村が協働して地域課題の解決に取り組むプロジェクトの推進
- 北海道型地域自律圏の形成に向けた道も参画する市町村の広域連携の促進
- 地域の食関連産業等の振興を通じた雇用創出の取組の推進
- 国境離島地域の生活確保に向けた航路・航空路の補助実施
- 粘り強い北方領土返還要求運動や隣接地域の振興 など

● 振興局と市町村が地域創生進化に協働で取り組む「地域政策コラボ事業」を創設

● 強靱でやさしいまちづくり



- 防災・減災の視点をより重視した社会インフラの形成推進
- 災害ボランティアのネットワークづくりや人材育成等の強化、災害時の迅速な対応等の推進
- 土砂災害による被害の軽減に向けた土砂災害警戒区域等の指定に必要となる基礎調査の推進
- 企業立地の促進など北海道の強みを活かして国全体の強靱化に貢献するバックアップ機能の充実
- 「社会資本整備の重点化方針」に沿った戦略的・効果的な整備と既存ストックの有効活用や適切な維持管理
- 生活の安全を脅かす犯罪対策等の推進及び安全かつ快適な交通の確保
- 飲酒運転の根絶に関する広報啓発活動及び知識の普及
- 東日本大震災による道内避難者の住宅確保に向けた道独自の支援の実施 など



● 強靱化に向けて再度災害防止を考慮した、被災施設の本格的な復旧
● 全道レベルの災害ボランティアセンターを常設設置

■ 大雨災害を踏まえた安心安全の確保の取組

国、市町村など関係機関と連携し、河川整備などのハード対策と防災体制の構築などのソフト対策の両面における防災・減災の取組を推進

ハード面の対応

- 洪水被害の防止・軽減を目的とした堤防整備や河道掘削
- 再度災害防止を考慮した、堤防や護岸など被災施設の本格的な復旧



- 計画的な河道内樹木の伐採などによる流下能力の確保



ソフト面の対応

- 都市型災害を想定した防災総合訓練の実施による地域防災力の向上
- 関係機関で共有する避難所、物資輸送ルート等を表示した防災共通地図の作成
- 避難所運営ゲーム北海道版「D o はぐ」の普及促進
- 北海道らしい避難食レシピの開発
- 洪水の際の迅速な避難に資する水位情報等の提供

